



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社エフ・シー・シー
代表者名 代表取締役社長 松田年真
(コード：7296、東証第一部)
問合せ先 取締役事業管理統括 松本隆次郎
(TEL. 053-523-2471)

減損損失の計上および連結業績予想と実績値との差異 ならびに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 27 日開催の取締役会において、平成 30 年 3 月期連結会計年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）に減損損失を計上することを決議いたしました。また、平成 29 年 10 月 27 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期の連結業績予想と実績値および平成 30 年 3 月期の個別業績と前事業年度の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期連結業績予想と実績値との差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 165,000	百万円 13,000	百万円 13,800	百万円 9,700	百万円 9,500	円 銭 189.29
実績値 (B)	173,174	14,052	14,083	9,923	9,691	193.11
増減額 (B-A)	8,174	1,052	283	223	191	
増減率 (%)	5.0	8.1	2.1	2.3	2.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	157,217	11,236	11,419	7,498	7,204	143.54

2. 差異が生じた理由

当社は従来から国内生産拠点の再編により生産効率の向上に努めてまいりましたが、今般、国内四輪事業において事業環境や収益性等を勘案し将来の回収可能性を検討した結果、当社が保有する固定資産について減損損失 1,454 百万円をその他の費用として計上いたしました。なお、当該減損損失を計上したものの、二輪車用クラッチ、四輪車用クラッチの販売が計画に対し順調に推移したことにより、売上、利益面ともに前回発表予想を上回る実績となりました。

3. 平成30年3月期個別業績と前事業年度の実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成29年3月期実績値(A)	百万円 36,756	百万円 131	百万円 4,259	百万円 2,905	円 銭 57.90
平成30年3月期実績値(B)	39,663	1,977	5,897	2,278	45.39
増減額 (B - A)	2,906	1,845	1,637	△627	
増減率 (%)	7.9	—	38.4	△21.6	

4. 差異が生じた理由

個別業績における営業利益、経常利益の増加は、主に増収に伴う利益の増加によるものであります。当期純利益の減少は、主に前記の国内四輪事業における減損損失1,454百万円および当社の連結子会社である FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V. の株式について、ペソ安や収益性低下の影響等により実質価額が著しく下落したため、関係会社株式評価損2,031百万円を特別損失として計上したことによるものであります。なお、関係会社株式評価損は、連結決算においては全額消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

以上